



## 偏見・差別のない世界を目指して

校長 佐伯 あつ子

令和8(2026)年が始まりました。日本は、世界は、どんな一年になるでしょうか。私は地球に住むみんなで、「緑と平和を守る地球人」になれたらいいなと思っています。「緑」は環境。「平和」は戦争や紛争、争いや傷つけ合いのないこと。そして「地球人」というのは、ただ「地球という同じ惑星に住む人」ということ。国や肌の色、性別や宗教などで分断したり差別したりしない、という意味です。

そのためにできることは、きっとたくさんあります。でも、一人ではできません。みんなが自分にできることに精一杯力を尽くし、その力を合わせれば、必ず緑と平和に満ちた地球で、みんなが幸せに生きることができると信じています。

六中は人権教育に力を入れています。東京都教育委員会「人権教育プログラム」には、15の人権課題が提示されていますが、六中では各学年、年間で3~6の課題に取り組んでいます。各学年の柱は、1年生が「障害者」、2年生が「同和問題」、3年生が「ハンセン病」です。

生徒が自らテーマに沿った課題を設定して調べ、発表した後、1年生は昨年度に引き続き、地域の障害のある方のダンスチーム「ちーおぎゃろっぷ」の皆さんとダンスで交流、2年生は東京都人権プラザの皆さんと一緒に浅草でフィールドワークをしました。そして3年生は12月に、ハンセン病回復者の奥様とハンセン病資料館の方をお招きした講演会を行い、お話を伺いました。

私は中学2年の夏休み、読書感想文を書くために母の薦めで「バラの心は海を渡った」という本を読みました。日本のハンセン病患者を手厚く看護した外国人女性のお話で、心に迫るものでした。

本を読み終えると、父が「連れて行きたい所があるよ」と言って、車で15分ほどのとある場所に連れて行ってくれました。そこは山の中にあって、深い生垣の奥に有刺鉄線が張り巡らされた場所でした。父は「東北新生園っていうんだ。ここに入れられた人は、一生ここから出られないんだよ。おかしいよな。」と静かに言いました。そこは、ハンセン病患者が療養所として「隔離」されている場所でした。

背伸びして中をのぞきこむと、有刺鉄線の奥に小さな民家が見えました。そしてその庭先に干されていた洗濯物が風をはらみ、晴れ渡った青空にその真っ白な洗濯物が浮かび上がった時、私は胸が苦しくなりました。怒りなのか、悲しみなのか、何とも言えない感情が湧いてきました。「一生出られない」囲いの中には、自分たちと何ら変わらない人々の営みがあることを間近に感じたからです。

私は今でも、この時の情景をはっきりと覚えています。そして繰り返し心に思いました。「絶対に人を差別してはならない」「差別するような制度をそのままにしておいてはならない」と。

これが、私が人権問題を考える原点となりました。ちなみに、明治40年から89年間も続いたハンセン病患者の強制隔離や、様々な人権侵害を含む「らい予防法」が廃止されたのは、この時から25年後のことです。

「地球人」として、どうしたら偏見や差別のない世界を作ることができるのか。一つの答えは「教育」だと思っています。教育の力、正しい知の力は、様々な偏見・差別の問題を解決することができると信じ、これからも六中生と人権について学んでいきます。今年もよろしくお願いします。



### 3年人権学習「ハンセン病」講演(12/22)

3年生は12月から人権課題「ハンセン病」について学んでいますが、12月5日の朝日新聞「ひと」のコーナーに、ハンセン病療養所で食堂を運営され、入所者の藤崎陸安(みちやす)さんと再婚されて、ドリアン助川さんと紙芝居を作られた藤崎美智子さんの記事が掲載されました。無理を承知で講演の依頼をしたところ快諾してくださり、ハンセン病資料館の佐久間建先生と一緒に貴重なお話と紙芝居の読み聞かせをしてくださいました。後日生徒の感想を読まれた佐久間先生からのお言葉の一部を紹介します。「私が思っていた以上に生徒さんたちは真剣に深く受け止めてくださったと感じました。このような深い学びが成立したことは、事前のハンセン病問題に関する学習が適切であり、さらに以前から六中では人権に関する指導・学習が十分にあったことから、生徒さんの人権感覚が磨かれていたのではないかと推察します。今は亡き陸安さんも心より喜んでいらっしゃると思います。」藤崎様・佐久間様、ありがとうございました。



脚本 ドリアン助川さん  
絵 ペトロアンドヨゼフさん  
協力 藤崎 陸安・美智子さん



### 2年校外学習・発表会(12/19)

校外学習のテーマ別のまとめ発表を行いました。浅草フィールドワークでお世話になった人権プラザの林専門員も来てくださり、充実したまとめの時間となりました。



### 1年職業インタビューまとめ(1/9)

キャリア教育で取り組んだ「職業インタビュー」の共有会をしました。みんな友達の発表に、興味深そうに聞き入っていました。



### 調布市いのちと心の教育月間(12月) 「命の授業」道徳地区公開講座(12/17)

12月は命を考える校長講話や、命を題材にした道徳授業地区公開講座を行いました。

また、19日の避難訓練は、「不審者から身を守る」をテーマに、クラスみんなでバリアード作りをしました。様々な角度から命について考えたいのちと心の教育月間となりました。



### MORI ルームでのイベント

#### ストリートピアノ DAY

12月17日の昼休みは、希望する生徒がピアノや弾き語りを披露しました。また、合唱部と集まったみんなでクリスマスソングを歌い、楽しい時間を過ごしました。



#### 図書委員会企画クイズ大会

12月19日の昼休みは、図書委員会が企画した「本と学校図書館に関するクイズ大会」で盛り上がりました。



### 六中「発声隊」が代替わりしました

六中では校歌を歌う際は、生徒の「発声隊」による全校発声練習を行っています。3年生は2学期で任期終了。3学期から2年生が務めています。始業式では緊張しながらも、独自のカラーで頑張りました。今後もよろしくお願いします。



### 社会を明るくする運動 作文披露

終業式、表彰を受けた3年□□□□さんの作品のモデルとなった、国領サポートクラブの鈴木あや子さん、橋本郁子さんをお招きして、作文と意見文を聞いていただきました。



### ■「生徒の活躍の様子」について

紙面の都合上、今月から随時 HP に掲載します。学校での取組の表彰等を基本としますが、学校外の活動については、部活動の都大会入賞レベル相当のものについて掲載します。掲載を希望する場合は担任までお申し出ください。

### ■新たな CS 運営委員のメンバーについて

12月から、高橋 健一郎 弁護士が六中 CS 運営委員に加わりました。よろしくお願いいたします。

### 1 月の行事と予定

- 8日(木) 始業式 安全指導日
- 9日(金) 給食(始)
- 10日(土) 英検直前サポート
- 13日(火) 一斉委員会
- 16日(金) 研究発表リハ⑤⑥カット
- 17日(土) 第3回英語検定
- 18日(日) 地域・耐寒マラソン
- 19日(月) 生徒会朝礼
- 21日(水) 数学ステップアップ教室
- 22日(木) 研究発表準備⑤⑥カット
- 23日(金) 研究発表会(教員対象)⑤⑥カット
- 26日(月) 都立推薦入試(～27)
- 28日(水) 数学ステップアップ教室
- 29日(木) グリーンハロープロジェクト
- 31日(土) 第3回漢字検定



〈英検直前サポート〉  
地域の方と ICU の  
学生さんによる丁寧  
な受検指導